

連載終了にあたりバックナンバーのご紹介 矢島勝昭

- 1、アンドレを探す (1997・10)
夏目漱石の「こころ」。雑司が谷墓地の墓の前で『「これは何と読むんでしょう」と私「アンドレとでも読ませる積もりでしょうね」と先生』。小説では「安得烈」、筆者が見付けたのは「案徳烈」さて？。
- 2、雑司が谷の森の物語 (1998・3)
「誰か小鳥を捕っている!」。霊園でメジロを捕獲していた男はやがて駆けつけたバトカーの中へ。雑司が谷は昔ホトトギスの名所だった。筆者も1997年5月22日と29日にその声を聞いたが・・・。
- 3、雑司が谷の鎌倉街道 (1998・11)
鎌倉街道は上の道、中の道、下の道、下の道を池上で分かれ北上する雑司が谷の鎌倉街道。目黒、駒場、千駄ヶ谷、旧高田馬場、そして豊島区内へ。
- 4、弦巻川伝説考証 (1999・3)
源義家の命名といわれる弦巻川は源頼朝も渡ったであろう。螢の名所として親まれた川は汚濁・悪臭に嫌われ、暗渠となって浄水場へ。
- 5、霊園の中の御成道 (1999・5)
八代将軍吉宗がまつわる伝説の道は雑司が谷霊園の東方。大根不作の農家を哀れみ、畑中を馬で蹴散らし傷ついた大根を1本1文で買い取って百姓を感激させた。以来馬の踏み跡を御成道と称した。
- 6、江戸と平成2回もらった景観賞 (1999・10)
アメニティ賞の「御嶽坂街路空間」「法明寺境内参道」は江戸庶民も雑司が谷八景に入れて賞した。
- 7、彦左衛門は一人ではない (2000・3)
大久保彦左衛門屋敷が雑司が谷1丁目にあった。しかし天下の御意見番の彦左のものではなかった。
- 8、池袋村地名考 (2000・6)
「池袋」の地名発祥の説は古来3説ある中「遊歴雑記」の西池袋1丁目の丸池説が有力。また「池袋」は横浜市中区や杉並区高井戸にも見つかった。
- 9、金色のいちよう通りにて (2000・10)
雑司が谷霊園を東西に分ける「いちよう通り」。道を挟んで東に羽左衛門と梅幸の墓、西側には鬼あざみ清吉の墓。時代が違う両者の因縁とは・・・。
- 10、幻影・十之丞さんの庭 (2001・3)
雑司が谷1の32あたりにあった鉄砲組頭・長田十之丞右兵衛翁の幻の庭園を著者が散策した。
- 11、弦巻川の橋と橋名 (2001・8)
西池袋の丸池に発し、雑司が谷を潤した弦巻川、豊島区内には六つの橋名が残っていた。
- 12、つるさんの体験記 (2002・3)

- 東通りで関東大震災を体験したつるさんの話。不穏分子対策で住民による検問所も作られたとか。
- 13、雑司が谷いろはかるた (2002・10)
雑司が谷の寺院・風物・歴史を詠んだ読み札。
- 14、役者と法明寺と鬼子母神と霊園 (2003・3)
鬼子母神の大森彦七の絵馬、彦七は楠正成を自刃に追い詰めた武士。喜多川歌麿や霊園に眠る歌舞伎役者六世市川門之助などとのつながりは・・・。
- 15、池波正太郎の「黑白」の中の雑司が谷 (2003・10)。
鬼子母神けやき並木の茶屋橋屋忠兵衛と剣客波切八郎、秋山小兵。物語は雑司が谷から展開する。
- 16、神社ですかお寺ですか (2004・3)
鬼子母神は神社ですかお寺ですか、むかしは鳥居もあったが。如来、菩薩、天部、神将。さ〜て？。
- 17、娘娘祭(にゃんにゃんまつり) (2004・10)
南満州鉄道大石橋付近の娘娘廟の伝説は天女と若者の出会いと別れは北原白秋も詩にも。雑司が谷の或る青年の現地からの絵葉書には天女が消えた迷鎮山も見られるが青年もやがて天上へ・・・。
- 18、田舎でござる (2005・3)
農村の頃の雑司が谷の話。農薬など無かった時代お百姓が節分で唱えた害虫駆除の農作業唄は・・・。
- 19、藪蕎麦 (2005・10)
彫金師で雑司が谷藪蕎麦主人戸張富久と絵師酒井抱一の交流など、雑司が谷文化人が輝いていた頃。
- 20、ケヤキ並木の寺子たち (2006・3)
鬼子母神の料理屋、蝶屋、茗荷屋。万屋などの子弟が通う寺子屋の日常。何歳から?お弁当は・・・。
- 21、雑司が谷高田の七不思議巡り (2006・10)
哀れな巡礼、詐欺坊主、お化け椿、不思議な石仏などを辿って雑司が谷・高田を一周散歩。
- 22、根津山と山の神 (2007・3)
池袋のグリーン大通りを含む根津山に棲んだ山の神。根津山開発で棲家を奪われいま何処・・・。
- 23、雑司が谷一兵士からの絵てがみ (2007・10)
青春期。中国大陸への応召を3回経験。若き画学生が残した膨大な絵てがみは命のあかしだった。
- 足掛け12年にわたった連載も本号をもって終了となりました。長い間の御お付き合い。誠に有難うございました。

- 企画/発行
池袋南地区まちづくりの会
豊島区都市整備部住環境整備課
電話 直通 03-3981-2612 片山/玉手
- 編集協力
株式会社 防災アンド都市づくり計画室
電話 03-3378-1960 吉川/小野

ぞうしがや

防災生活圏促進事業が3月で終了します

ありがとう
ございます

池袋南地区まちづくりの会
会長 広瀬 殊



この地区で防災まちづくりがはじまったのは、今から25年前、雑司が谷墓地の周辺で不燃化まちづくりがはじまってからです。以来、多くの事業と池袋南地区防災生活圏促進事業によって、長いことまちづくりは行われてきました。これも豊島区のご支援と地元の皆様のご協力のおかげです。改めて御礼申し上げます。

この間に、少しずつ地区は災害に強いまちになってきました。しかし、もう大丈夫かという、そうは言い切れません。まだまだまちづくりの課題は残されています。一方で、この長年のまちづくりによって、地区の町会や住民のきずなは強固なものになったと思います。これは大きな財産を生み出したと言えるでしょう。

まちづくりに終わりはありません。これまでの成果を活かすためにも、これまでのまちづくりの流れを絶やさないようにすることが、今こそ必要にされていると思います。

ごあいさつ

豊島区長 高野 之夫



平成10年から安心して住み続けたいまちを目標として展開してまいりました防災生活圏促進事業も今年度で10年目となり、事業期間の完了を迎えます。これまでの地域の皆様の積極的な事業への取り組みに、あらためて御礼申し上げます。

井戸の改修や、南池ふくろうひろばの開設などとともに、大勢の方の参加のもとに行われた「防災まちづくりイベント」は地域のつながりをより強固なものとする、大変意義深い取り組みであったと感じております。

事業が終了しても、「まちづくり」が終わるわけではありません。地下鉄副都心線の開通を間近に控え、その後の環状5の1号線の整備等によって、南池袋・雑司が谷地区はますます発展を遂げることでしょう。

今後も、「災害に強いまちづくり」に官民一体となって取り組んでいきましょう。

まちづくりの成果

防災生活圈促進事業の終了

池袋南地区で、平成10年度から行われてきた防災生活圈促進事業は、平成20年3月をもって10年間の事業期間を終えます。

この10年間に地区では井戸や広場などの整備が行われました。また防災まちづくりイベントも5回行われ、すっかり地域の行事として定着してきました。

地元の皆さんの参加によって

これらの事業は、池袋南地区防災まちづくりの会をはじめ、イベント実行委員会、南池袋保育園跡地検討会など、必要に応じて組織された地元の皆さんの積極的な参加と、各町会や商店会などのご協力によって運営されてきました。

おりからの不況の影響もあり、当初予定した計画どおりに事業が行われたとは言えません。しかし、この事業を通して培われた人のつながりは、これから地区の財産となっていくことでしょう。



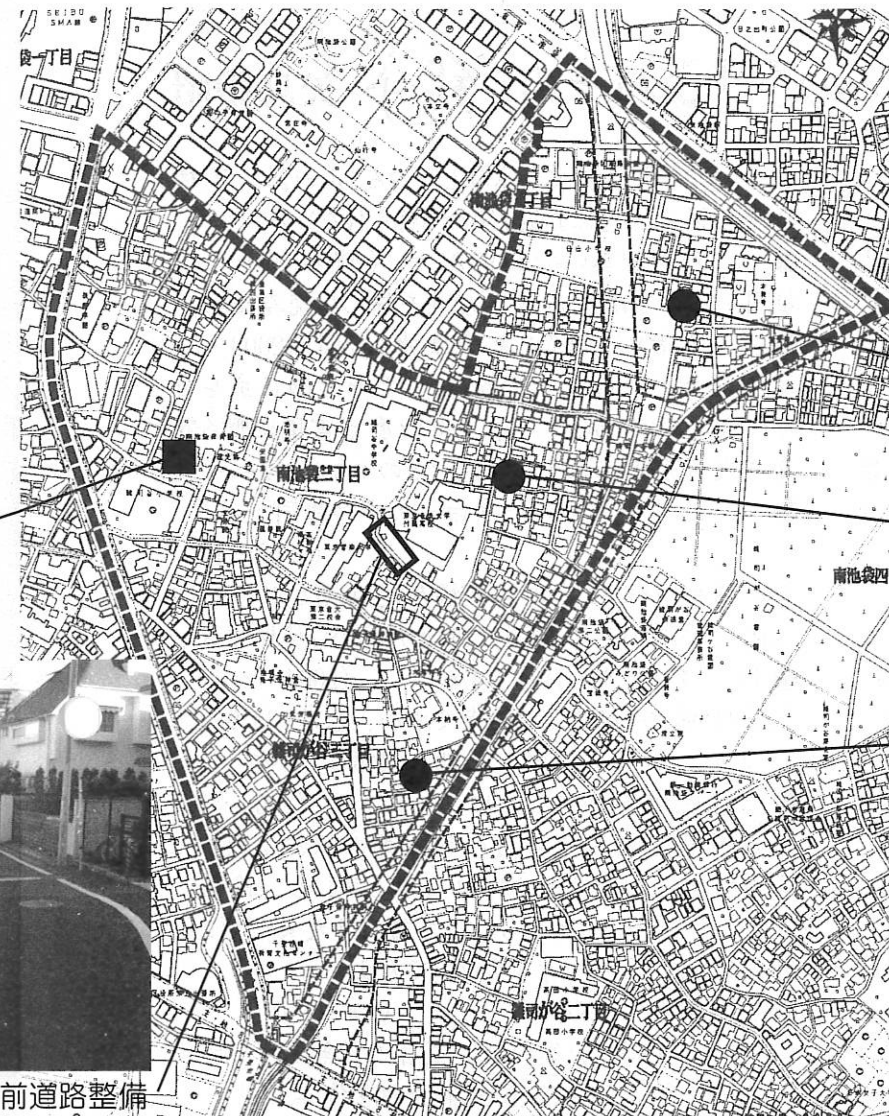
南池ふくろうひろば



防災まちづくりイベント



音大前道路整備



番神の水



柳の水



七曲の水

まちづくり年表

平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
現況調査	地元の調整	池袋南地区まちづくりの会							
		計画づくり							
		南池袋小要望書	まちづくり計画提言書				南池袋保育園跡地についての要望書		
			音大前道路整備要望書				南池袋保育園跡地について考える会		
		●井戸の整備	番神の水	柳の水	七曲の水	●ひろばの整備			南池ふくろうひろば
		●道路の整備		音大前道路整備					
			イベント実行委員会						区民ひろば南池袋と合同
			●イベント ①	②	③	④	⑤		
				防災まちづくりイベント					

まちづくりの継続

まちづくりの会では、防災生活圈促進事業が終了したあとの会の継続を検討しました。その結果、住民の自主運営によりまちづくり活動を継続することに決定しました。住民自身の手によりまちづくりの会を運営していくため、やれることは限られてきますが、会を存続させ、地区のまちづくりの一翼を担いたいと考えています。

まちづくりに参加する人・募集

まちづくりの会は住民の自主運営により再スタートいたします。そこで、新たなまちづくりの会に参加する方を募集します。活動の内容は、4月以降に行う会で話し合います。ご希望の方は、住所・氏名・電話番号を添えて、下記までお申し込みください。

●申し込み先：豊島区都市整備部住環境整備課 片山・玉手 電話3981-2612
FAX 5950-0803

*お申し込みいただく個人情報については、現まちづくりの会会長に引き継ぎます。